

氏名：水上 滉大

所属：人文学部 法経政策学科 経済コース 2年

派遣期間：2015年9月1日～9月14日

派遣大学：ガジャマダ大学

・日本語教室での指導内容

日本語の授業は週に5回月曜日から金曜日まであり、10時～11時30分の午前の部と13時～14時30分の午後の部の2回ありました。ビギナークラスとアドバンストクラスの2つのクラスに分けて授業を行いました。

・ビギナークラス：日本語を話すことができない学生を対象とし、ひらがなやカタカナから教え、自己紹介、挨拶、家族、道案内、簡単な短文（肯定文、疑問文、否定文）も教えました。インドネシアの学生が日本に来て困らないようにというテーマの下指導しました。

・アドバンストクラス：日本語を話すことができる学生を対象とし、漢字、日本語での日常会話、言葉遊び、敬語、テーマを定めたディスカッションなどハイレベルなことを教えました。インドネシアの学生が日本語の面白さが分かるようにというテーマの下指導しました。

・日本語教室以外での現地での交流

昼食、夕食は毎日インドネシアの学生と食べていました。毎日外食で、1食150円くらいで食べることができました。料理は甘いものと辛いものが多く慣れるのに2、3日かかりましたが、帰国するころにはインドネシア料理が恋しくなっていました。授業のない休日はレンタカーを借りて世界遺産や海に行ったり、バスでお土産を買いに行ったりしました。レンタカーは一1人700円くらいで借りることができすごく便利でした。バスはもっと安く40円くらいで乗ることができました。また、6ヶ月間の留学でガジャマダ大学に来ていた立命館大学の生徒と仲良くなり、日本語クラスの手伝いをしてもらったり、一緒にガジャマダ大学のクラブ活動にも参加しました。日本語クラスを受けている学生の中にバンドをやっている学生がいたので、そのライブを見に行ったりもしました。そのバンドと協力して授業最終日にみんなの前でギターをサプライズで披露しました。私はギター初心者だったので4日前からインドネシアの学生のドミトリーやホテルの部屋で夜遅くまで練習しました。この練習の日々が1番辛く、1番思い出に残っています。授業がない時間もとても充実していました。

・プログラムに参加した感想

海外に2週間も滞在することは初めてだったので、出国前は不安な気持ちもありましたが、現地に着くと現地の学生が温かく迎えてくれたので、とても楽しく、充実した2週間を過ごすことができました。インドネシアは自分が想像していたよりもはるかに発展していて

驚きました。まだ、インフラ不足や衛生問題に多くの問題を抱えているというのも現状です。このプログラムを通じて、インドネシアに関心を持つことができ、インドネシアの向上のために「なにか貢献したい」という気持ちが芽生えました。授業に来てくれた学生は本当に日本に関心があり、どんな授業でも真剣に聞いてくれました。もっと有意義な授業にしたかったというのが少し心残りです。日本語チューターという日本語を教える立場でインドネシアを訪問しましたが、自分の力不足を痛感する出来事が何度か起き、学ぶことのほうが多い2週間でした。

・今後の展望

インドネシアで出会った学生、そして共に協力しあった山大生との交流を絶えず続けたいと思います。海外への興味がより一層強くなったので、もっと海外へ行き自分の知らない世界をみたいと思います。自分の意思を伝えられないもどかしさを現地で痛感したのでもっと英語力を向上させたいと思います。今回の経験を自分のものだけにするのではなく、友人や後輩など多くの人に共有し、なにか影響を与えていきたいと考えています。機会があれば、来年もぜひ参加したいと思います！



授業に来てくれていたインドネシアの学生と世界遺産に行ったときの写真



授業最終日にサプライズでギターを披露したときの写真



レンタカーを借りて海に行ったときの写真